

日本原子力学会炉物理部会第 32 回総会議事録

平成 21 年 10 月 5 日

日時：平成 21 年 9 月 16 日（水）12:00～12:55

場所：日本原子力学会 2009 秋の大会 G 会場（東北大学 マテリアル・開発系講義棟 第 5 講義室）

配布資料

- 32-1：炉物理部会関連内規の一部改訂の提案と報告
- 32-2：平成 21 年度炉物理部会収支予算案
- 32-3：平成 21 年度（第 3 回）炉物理部会賞の報告
- 32-4：第 41 回炉物理夏期セミナー実施報告
- 32-5：炉物理部会 2010 年度日韓学生・若手セミナー等の活動計画について
- 32-6：2010 年 3 月発行予定の炉物理ニュース「炉物理の研究」(報告)

議事

1. 炉物理部会内規の一部改訂 (配布資料 32-1)
日本原子力学会「炉物理部会」内規に対する、部会費の記載内容、一部の運営委員の名称および選出方法等の改訂が肥田部会長より提案され、審議の結果、原案通り承認された。
また、炉物理部会運営委員会内規に対する同様の改訂について、運営委員会にて承認された結果が報告された（本内規の改訂は総会での議決事項ではない）。
2. 平成 21 年度予算 (配布資料 32-2)
第 31 回総会で承認された平成 21 年度予算案に対して、学会理事会からのコメントを反映した修正案が運営委員から提案され、審議の結果、原案通り承認された。
3. 平成 21 年度（第 3 回）炉物理部会賞の報告 (配布資料 32-3)
今年度は応募がなく受賞なしとなったことが、募集経緯と共に、肥田部会長から報告された。また今後の対策について、運営委員会からの推薦、応募方法の簡略化、他部会での選出方法の参照、などの意見が出された。部会賞選考は学会理事会から透明性を求められていることから選出方法は慎重を期すべしとの指摘もあり、引き続き運営委員会で検討することとなった。
4. 第 41 回炉物理夏期セミナーの報告 (配布資料 32-4)
8 月 3 日～5 日に開催された炉物理夏期セミナーの概略が、羽倉セミナー幹事から報告された。例年並みの 63 名が参加し盛況に行われた。決算は、確定していないため、別の機会に報告される。また、テキスト残部の学会事務局預かりが 5 部に制限されたため、テキスト印刷部数を減らすべきという申し送りがあった。
さらに、次年度の夏期セミナー幹事は三菱重工殿に引き受けていただく予定であることが、肥田部会長より紹介された。

5. 日韓学生・若手セミナー等の活動計画 (配布資料 32-5)

2010 年度日韓サマーセミナーが韓国で開催(主催は韓国側)される予定であり、炉物理+放射線工学+加速器・ビーム科学+核データの4部会が参加することになる見込みであることが、伊藤運営委員から紹介された。

6. 炉物理部会報「炉物理の研究」 (配布資料 32-6)

2010 年 3 月発行予定の第 62 号作成の進捗状況の報告と記事の募集が、渡邊運営委員よりなされた。研究会報告の執筆について、東北大学岩崎先生の快諾をいただいた。一方、特集記事については、炉物理部会報という位置づけからあまり産業界寄りの記事は適さないのではないかと、部会企画セッションの記事としてはどうかとのコメントが出され、引き続き検討することとなった。

7. その他

出席者から、以下の国際会議の案内が行われた。

- ・ GLOBAL2011 2011 年 9 月 4 日～9 日、愛知県にて。
- ・ SNA+MC2010 2010 年 10 月 17～20 日、東京一ツ橋記念ホールにて。
- ・ ICONE18 2010 年 5 月中旬、中国西安にて。
- ・ PHYSOR 2010 年 5 月第二週、米国にて。
Abstract なしで最初から full paper での投稿となる。10 月末〆切。
- ・ FR09 2009/12/6-12/10、京都国際会議場にて。
参加には IAEA の事前許諾が必要となる可能性があるため確認が必要。

以上